

時代	古墳時代	
島根県西部の大型古墳 ～スクモ塚古墳の謎に迫る～		
スクモ塚古墳は、古墳時代中期(5 世紀代)に築かれた古墳で、江戸時代から存在が知られていました。葺石、円筒埴輪があります。この地域には、大元1 号墳や小丸山古墳など大型の古墳がいくつも築かれています。また、スクモ塚古墳と同時期の集落が若葉台遺跡、久城西Ⅰ遺跡で見つかっています。		



図1 真上から見たスクモ塚古墳



図2 西から見たスクモ塚古墳



図3 スクモ塚古墳の埴輪

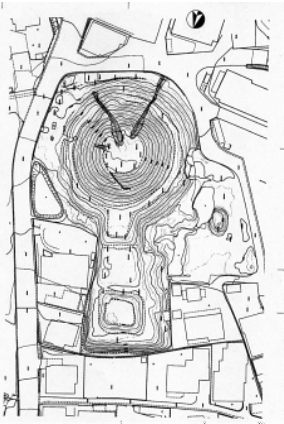


図4 スクモ塚古墳測量図

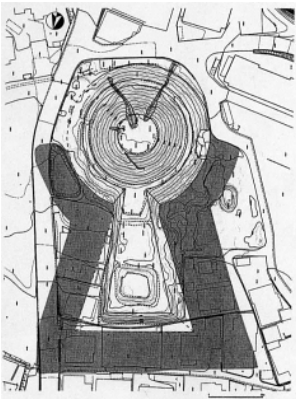


図5 スクモ塚古墳を前方後円墳とした場合の復元図

スクモ塚古墳には、前方後円墳説と円墳説があります。

- 前方後円墳と考えた場合、全長約 100m、周溝(図5の網掛部分)をもちます。
- 円墳と考えた場合、直径 57m、造り出しをもちます。



図6 スクモ塚古墳位置図



←図7 小丸山古墳航空写真

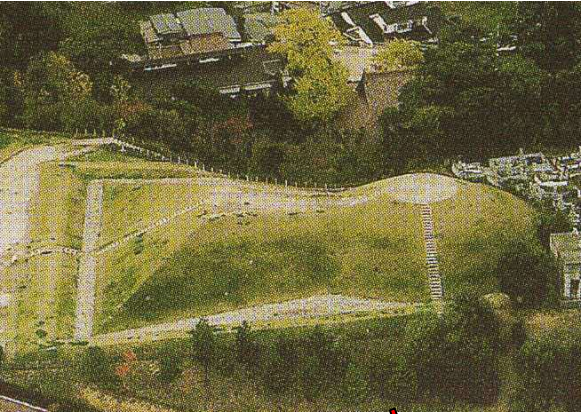
小丸山古墳は益田平野を一望できる山頂に位置します。墳丘の全長は 52m、後円部の高さは 7.3 m と、石見地方でもトップクラスの規模を誇る 6 世紀初め頃の前方後円墳です。開発のために古墳の上半部が壊されましたが、市が用地買収して発掘調査を行い、復元整備しました。

出典：解説…(図1～5)『大垣大塚古墳(附編スクモ塚古墳)』2008 島根県古代文化センター調査研究報告 40 (図6)『いにしへの島根ガイドブック』3巻 1996 島根県古代文化センター(一部改変) (図7)『古代の益田を歩いてみよう 古代編』2009 益田市教育委員会

～石見の古墳を調べよう!～

年 組 名前

益田市には、大型の古墳が多く造られています。古墳時代の5世紀に造られたスクモ塚古墳や、6世紀初めごろの小丸山古墳があります。



↑ 上から見た
小丸山古墳



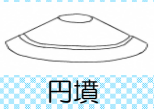
真上から見たスクモ塚古墳

Challenge

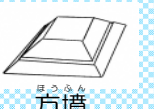
古墳の写真を見て、気がついたことや思ったことを書きましょう。

コラム

スクモ塚古墳は、円墳という説と、前方後円墳と考える説があります。直径 57m の円墳と考えた場合、とても大きな円墳といえます。前方後円墳と考えた場合は、全長約 100m の古墳と考えられます。どちらにしても大きな力を持った豪族がいたことは確かです。



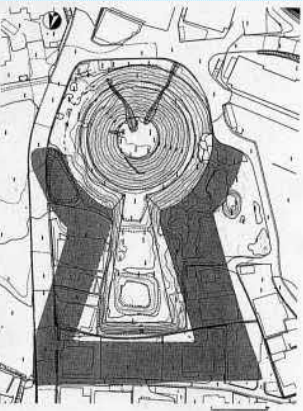
円墳



方墳



前方後円墳



スクモ塚古墳を前方後円墳とした場合の復元図